

年末は、3種のコーティングでキレイにしよう!

新登場

1年キレイに楽になる

ノーワックス、ノーメンテナンスだから1年間洗車だけでOK。
汚れにくいから洗車が楽になる。

Crystal KeepPre

クリスタルキーパーコーティング



耐久力のガラスタイプ 1年ノーワックス、ノーメンテナンス

ヨーロッパ最大のカーケミカルメーカー ドイツSONAXと日本KeepPreが共同開発。

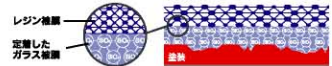
無機質ガラス被膜がベース、高い保護能力が特長。



クリスタルキーパー独自の無機質ガラスを塗装面に形成して、保護能力の高いベース被膜を造ります。

樹脂被膜で二重構造、水シミ、雨ジミの固着を強力に防止。(特許出願中)
ガラスのベース被膜の上を最新化学の樹脂でさらにガード。強力な撥水を実現。さらにガラスコーティングの宿命「水シミ」「雨ジミ」「ウォータースポット」の固着を防止します。

ガラスと樹脂のハイブリッド構造
ガラスをベースにすることで、強い膜が得られる。



耐久期間	コーティング被膜の耐久力は1年以上(ノーメンテナンス)
水弾き	水を弾き、水玉になります(撥水)
特長	高い保護能力と、ガラス特有の透明感のある艶
作業時間	約2時間

●もう1つの選択

復活力のポリマータイプ

高密度のポリマー被膜で傷んだ塗装を蘇らせます。

耐久期間	コーティング被膜の耐久力は1年以上
水弾き	水を弾き、水玉になります(撥水)
特長	しっとりした艶と撥水を持たせます
作業時間	約2時間



最強の艶、5年耐久

Diamond KeepPre

ダイヤモンドキーパー
ボディガラスコーティング



耐久期間	コーティング被膜の耐久力は5年以上
水弾き	水を強烈に弾きます(強撥水)
特長	ハイブリッド化により、水シミの付着を強力に防止
作業時間	約6~12時間程度

3ヶ月ごとのドラマティック

Pure KeepPre

ピュアキーパー
ポリマーコーティング



耐久期間	コーティング被膜の耐久力は3ヶ月以上
水弾き	水を弾き、水玉になります(撥水)
特長	繰り返し施工することにより、塗装を良くします
作業時間	約40分程度

Information アイ・タック インフォメーション

洗車・コーティング情報が満載! 「みんなカラ+」で快洗隊ブログがスタート!

アイ・タック技研では、自動車業界でNo.1のページビューを誇る「クルマ」に特化したSNSサイト「みんなカラ」(<http://minkara.carview.co.jp/>)内に、オフィシャルコンテンツとして、洗車・コーティングに関わる情報(洗車・カーケア特集)を提供。洗車やコーティングに関わる知識、コーティング施工店の紹介など、毎月たくさんの情報を掲載しています。

また「みんなカラ」に直結し、企業側から情報発信をするサイト「みんなカラ+」(<http://minkara.carview.co.jp/plus/>)には、コーティング施工したお客様自慢の愛車を紹介する「お客様フォトログ」を掲載。さらにこのたび快洗隊ブログも「みんなカラ+」に登場。快洗隊スタッフのブログや「快洗隊に聞こう!」というコーナーを設置し、洗車・コーティング・快洗隊に関する質問にお答えしています。

「みんなカラ」「みんなカラ+」とも、クルマに関わるプロフェッショナルやクルマ好きが集まるサイトだからこそ、ウソのない詳しい情報が満載!ぜひ一度アクセスしてみてください!



「みんなカラ」
<http://minkara.carview.co.jp/>

クルマ好きのユーザーが無料でブログを開設し、日々のできごとやクルマに関する情報を自ら発信することができる人気SNSサイト。ブログの他、愛車自慢や車のパーツ製品の取り付け方や評価を掲載できるコンテンツや、共通の話題で盛り上がるコミュニティなど、クルマ好きならではのリアルな情報が満載です。



「みんなカラ+」
<http://minkara.carview.co.jp/plus/>
自動車業界のプロフェッショナルである企業から発信するブログ。各ジャンルの最先端の情報を知ることができます。



「みんなカラ+」キーパーブログサイト
「みんなカラ+」快洗隊ブログサイト
キーパーコーティングを施工した自慢の愛車を紹介する「お客様フォトログ」の他、洗車・コーティングに関する質問に答えたり、情報を提供しています。



「キーパーオフィシャルコンテンツ」
キーパータイムズに掲載した情報など、洗車・コーティングに関する最新情報を掲載。

オリバー・カーンの時代 その9



ゴールキーパーは ゴルフボールを 避けられるか?

フリーガンをご存知だろうか。暴れることが目的でサッカー場にやってくるゴロツキどものことである。もちろん一人ではなく集団である。一人でそんなことができる人間ならば徒党は組むまい。

ある年のこと。ドイツブンデスリーガの1部と2部を行ったり来たりする冴えないクラブのSCフライブルクとの、敵の本拠地フライブルクのドライザムシュタディオンでの試合だった。

バイエルンが相手のファウルでPKをもらい先取点を取った直後、ゴール前に立つカーンの側頭部にゴルフボールが当たった。飛んできたのはフライブルクサポーターがいるエリアからである。フライブルクのサポーターが、たぶんPKで得点を取られた腹いせにカーンめがけてゴルフボールを

投げたのだろう。距離はおおよそ20メートル。ゴルフボールならば下手をすると重傷を負う可能性だってある距離だ。

サッカーの競技規則によると、GK以外の選手はいなくとも試合はできるが、GKは絶対にいなければならないことになっている。交代しなければならないほどの負傷でなければ、その場で治療する。もちろんその間、試合の時計は止まる。チームスタッフはカーンを交代させる準備をした。が、カーンは交代を断り、応急手当を少しだけ休んで、またゴール前に立ったのだった。

このことを、カーンはこう語っている。「ペナルティエリアには何が飛んでくるかわかったもんじゃ。でも、ゴルフボールなんてまだマシ

だよ、むかしゼップ・マイヤーは自分のすぐそばを飛んできたナイフが目前で芝に突き刺さったのを見たそうだよ」

ゼップ・マイヤーはカーンの3代前の代表GKで、引退後はバイエルンと代表でGKコーチを務めた、「キーパー王国ドイツ」の先輩で師匠でもある。名キーパーであったにも関わらず厚手で人徳のある人柄で慕われた名選手だった。カーンは、まさにマイヤー直伝の弟子である。

カーンにとってラッキーだったのは、フライブルクがしょっちゅう2部に落ちていたために、それほど対戦する機会がなかったことかもしれない。カーンのためにも、世界のサッカーファンのためにも喜ばしいことだった。